

2026

1

まちのスケジュール

■教育 + 健康・保健 ★文化・体育 ♦その他

1 木 元日 ★元旦マラソン(頓原・志々)

2 金

3 土

4 日

5 月 ♦官公庁仕事始め
♦保育所始め

6 火

7 水 ■飯南高始業式

8 木 ■町内小中学校始業式

9 金 ♦行政相談(さつき会館)
♦飯南スマホ教室(交流センターとんばら)

10 土

11 日 ♦消防出初式(みせん)

12 月 成人の日

13 火 ♦飯南スマホ教室(赤名公民館)

14 水 +オレンジカフェ(交流センターとんばら)

15 木 +1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)

16 金 ■来島小授業公開日

17 土

18 日 ♦「しまね家庭の日」
♦ストーリーテリング(中央図書館)

19 月

20 火 +オレンジカフェ(赤名福島邸)

21 水 +ほっとCafé 食講座【パッククッキング、防災】(来島保健センター)

22 木

23 金 ♦はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
■志々小學習公開日24 土 ★飯南町スキーカンペーン開幕祭(野川スキー場)
+オレンジカフェ(上赤名会館)

25 日

26 月

27 火 ♦飯南スマホ教室(赤名公民館)

28 水 ♦まちづくり講演会(来島交流センター)

29 木 ■小学校一日入学(頓原・志々・赤名・来島)
♦飯南スマホ教室(来島交流センター)30 金 +オレンジカフェ(つがか交流センター)
♦飯南スマホ教室(交流センターとんばら)

31 土

〈毎週火・水・金曜日〉 + ほっとCafé(来島保健センター)

町の人口 4,260人(前月比-16人) 世帯数1,982戸 R7.12.1 現在

「ルーツ
いいなん
53

このまちに住んでいようと、なかろうと、ルーツをたどれば飯南町、生まれや育ちは違っても、飯南町に縁ゆかりがある。そんな人たちを紹介します。今回登場した人が次の人の指名。つながり続くよどこまでも。

ふるやとの温かさを胸に、
命と向き合うやまもと たお
山本 現太

飯南町頓原出身。頓原中、飯南高卒業。高校では野球部で活躍。広島市消防局に入職し、現在は救急救命士合格に向けて勉強中。(広島市在住)



広島市消防局消防官として、災害対応や救助対応などの業務にあたる山本現太さん(32歳)。消防官を目指したきっかけは、高校2年生の時に発生した東日本大震災だとあります。

「メテ」アイを通して、被災地で援助活動に取り組む警察官や消防官の姿を目

にして、公安職に就きたいと感じました」と当時を振り返ります。

「傷病者を病院に搬送し、感謝の言葉をかけてもらつた時は、消防の仕事にやりがいを感じます。一方で、残念ながら自分の無力さを痛感する場面もあります」と山本さん。

多くの命を救いたいと、今年から救急救命士を目指し勉強を続けています。仕事に打ち込む一方、休日は子どもたちとの時間を大切にしたいと話す山本さん。子育てを通して、人とのつながりが強い飯南町の良さを改めて感じたと語ります。

「都会では人とすれ違つても挨拶しないことに驚いた。飯南に帰つた時、道端ですれ違つ小学生の『帰りました』と、元気な声が聞こえて、思ひました。山本さんの祖母は「山本写真スタジオ」を廻るカメラマン。「スマホ祭モード撮影会など、祖母が関わる撮影イベントに合わせて帰省することも。

「おばあちゃんは山本家で一番ハ

フル。今つと元気になれる人。まだまだ

元気に地元を盛り上げてほしい」と山

本さん。町外に住んで、気がついたらふるさ

との良さや、家族への優しい思いを話

してくれました。



撮影:野津研一

飯南町滞在型地域交流拠点施設が完成。施設の愛称は、飯南高校生と教職員の応募の中から「三日市NODE」に決まりました。

「NODE」には「結び田」や「接点」という意味があり、この施設が高校生と地域住民との交流の場になつてほしいという思いが込められています。

令和8年4月から運用開始。飯南高校生の学びと地域の活力が育まれる場としての活用を目指します。

今日の表紙

飯南町滞在型地域交流拠点施設が完

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか

マチイロ